鳥海讃歌

ＧＴＨ通信　第18号　令和２年５月１９日（火）
校長室より

コロナ対応が生み出した財産！

学校の「再開」から早いもので１週間が経過しました。去る１４日（木）には秋田県の「非常事態宣言」が解除され、仁賀保高校の風物詩、校舎を彩る鮮やなつつじの花が咲き始めていることに気づける余裕も、ほんのちょっとですが芽生えてきました。とはいえ、当分の間は私達人間が、コロナウイルスの性質を理解しながら、「三密」対策やマスクの着用、ソーシャルディスタンス等を意識した社会生活を継続していく必要があります。安心して暮らせる日常には程遠い状況ですが、世間で呼びかけられている「行動規範」を遵守して生活しましょう。
学校は、自分自身のかけがえのない「命」を、一人ひとりが確実に守るための「学び」を提供する場であると考えています。

さて、コロナウイルスに関する様々な情報や対策が、私達の生活に浸透し常態化したことで、生活習慣の見直しが進んでいます。映画館への入場制限やスーパーのレジの並び方、至近距離による会話の自粛等、「ソーシャルデスタンス」のもと、「物理的距離」が制限されています。大切なことは、自分は大丈夫という「自分本位の視点」にとどまらず「他者の気持ちや不安、困り感を考えて行動する心構え」です。これは、「心理的距離」を近づける役割をしてくれます。仁賀保高校の皆さんは、物理的な距離を保ちながら、人間同士の心理的な距離を遠ざけない工夫を考えてください。特に高齢者や小さな子ども達、持病のある方々等に対する配慮や接し方を意識した発言や行動に関して、お手本を示すようにお願いします。
学校では、これまで生徒や保護者の皆さんの心情を最大限勘案して、できる限りの対応をしてきました。卒業式でのユーチューブ配信、臨時休業等での学力保障に関する対策として、ＨＰ上でのパスワード付課題タグの設置や質問の受付、登校再開後の様々な状況を想定して、インターネットによる課題や授業配信等の準備や研究を、教職員が組織的に取り組んでおります。試行段階とは言え、情報メディア科の優位性を生かして、在校生と保護者の皆さんの安心・安全の確保に向け、積極的に取り組んでいる教職員を誇らしく思います。今後は、各御家庭のネット環境等に十分配慮しながら、保護者の皆さんの御理解と御協力のもと、情報通信技術の活用方法を提案し、情報メディア科を持つ仁賀保高校とし て、魅力ある学校づくりを進めて参ります。在校生の皆さんには、世の中に制限がある状況をポジティブに考え、新たな生活様式を工夫したり、身の回りの人々の心情を思いやって、助け合い支え合う地域共生社会を創造する主役になってほしいと切に願っています。

部活動に入って仁賀保高校を盛り上げよう！

コロナウイルスの影響で、部活動も制限される中、１５日（金）には部活動紹介をプリントにして配付しました。部活動は、学校の教育課程（授業や委員会活動、学校行事等）の枠内ではなく課外活動として位置づけられています。「課」外とは教育「課」程の外側という意味です。
つまり、生徒諸君の意志によって主体的、積極的に行われる学校教育活動なのです。私は、高校時代バスケットボール部に所属しており、高校時代の思い出の殆どが部活動でした。そこで、在校生諸君にお願いです。本校には沢山の部活動があります。生徒数の減少等で、運動部では団体競技を組む事が厳しい部活動や、中学校でやってきた部活動がないという状況もあるでしょう。しかしです。教育課程には「枠」がある以上、枠内で自由度が規制を受けていると考えれば、部活動は、主体的・積極的に活動ができること、これまでやったことのない活動にチャレンジして「新たな自分」を発見することが可能です。部活動は、「心を磨き、人間を創る」と私は自身の経験から胸を張って言い切れます！仁高生諸君、是非とも部活動に入ってください。自分の心と向き合って「心身を磨き鍛えてください」。運動部、文化部、同好会等を問いません。「一人一部活」をアイデンティティにし、さらに活気ある高校に発展できるように、皆さんの「心意気」に期待しています。

★ **アイコンタクト（ｉ ｃｏｎ ｔ ａｃｔ）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！

★ **メモ**をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。

★ **意識力**＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。

★ **ＧＴＨ**は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。

★ **「自己有用感」**を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか?
自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です！

★ **ＮＰＴ**は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、**Trial＆Error**で進めましょう！